

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちゃれんじくらぶ 大野城教室			
○保護者評価実施期間	令和7年3月15日 ～ 令和7年4月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28世帯	(回答者数)	15世帯
○従業者評価実施期間	令和7年3月15日 ～ 令和7年3月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫して取り入れている。季節の応じたカリキュラムと取り入れている。	季節を感じる事が出来る様活動に取り込み室内・屋外問わず活動を行っている。 他教室との合同カリキュラム（運動・レクリエーション）を取り入れている。	行われた活動の中で課題・反省点・ヒヤリハット等について職員で話し合い支援の質の向上に繋がります。
2	保護者様からのニーズや課題を明確にし放課後デイサービス計画を作成し支援に取り組んでいる。	保護者様から事前に聞き取りを行い定期的に支援会議を行っている。職員全員が支援内容を理解し会議を行っている。	定期的に外部研修を受け職員の質の向上に繋がっています。
3	一つの見解・支援にとらわれない支援を行っている。	支援後職員全員でミーティングを行っている。	課題点や改善点を見出し更なる課題を掲げ偏りのない新たな取り組みを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	コロナウイルス等感染症の影響を受け親子参加型のカリキュラムや見学・体験活動の機会が少ない。	感染拡大防止の為外部との接触を控えていた。	今後状況に応じて地域イベントに参加。
2	地域との交流や地域イベントの参加が少ない。	地域活動に対する活動が行われていない。	地域イベントの情報収集に努める。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 年月日						
ちゃれんじくらぶ大野城教室								
		利用児童数 年月日				回収数		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13			2	清潔感もあり広々として過ごしやすいです。	常に日頃から心がけております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1		4	いつも丁寧に子供と向き合ってもらっているように感じます。	事前に確認し利用者様の状況・活動内容に応じ配置を考えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			6	玩具の置き場も決まっております。	利用者様に分かりやすく整理整頓を心がけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			3	快適な空間で広く新しく心地よく過ごせる環境だと思っています。	定期的に設備点検を行い安全で快適な空間を維持しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1		1	ハグを通じて共有できていると思います。	連絡ツールとしてハグを取り入れています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				面談を通じて冷静に分析していただき作成されていると感じます。学びが多いです。	全職員で共有し支援に取り組んでいます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			1	ハグを通じて共有できていると思います。	定期的に学校での様子・ご自宅での様子を聞き取り保護者様と共有させて頂いています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				面談を通じて計画して下さっています。	全職員でミーティングを行い共有し取り組んでいます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2	2		色んな体験が出来るよう活動を企画して下さっており通うことが出来ます。	毎月保護者様と利用者様のニーズと要望をもとにカリキュラムを作成しております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2		1	12	すいません。分かりかねます。	感染症の為交流活動は行っておりません。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1		1	利用の前に書面を通して説明があり質問にも丁寧に答えて頂きました。	契約時に丁寧に説明させて頂いています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1		1	面談時に説明がありました。	支援内容を丁寧に分かりやすく説明させて頂いています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	1	8	ハグを通して共有して下さっています。	情報共有はハグを通して行っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	2		1	送迎時にこちらから伝えたり怪我の対応をハグを通じて教えて頂いたりしています。	送迎時等を用いてご様子をお伝えしております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1			面談が実施され情報の共有をして下さりとても親身になって下さいます。	連絡ツールや送迎時にお伺いしております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	1		ハグや送迎時に共有して下さいます。	課題とニーズを基に支援に取り組んでいます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	5	6	参観日のようなものがあると嬉しいです。（あったらいいですね）	今後決まり次第事前にご連絡させていただきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			3	ハグを通して情報の共有をして下さり面談時とても相談しやすい環境で伝えたこともすぐに対応して下さいます。	常日頃から迅速な対応を心がけています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			ハグを通して共有してくださっています。	常日頃から迅速な対応を心がけています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1		1	ハグを通して共有してくださっています。	毎日連絡帳を記入させていただき、状況を報告させていただいています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			3	問題となることはありません。	個人情報は慎重に保管させていただいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8		2	5	初回時説明があり避難訓練を受け子供の中で学びがあったようです。	年に数回訓練を行っており、適宜マニュアルの見直しをさせていただいております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	1	5	すいません。分かりかねます。	年に数回訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1	2	4	安全に支援してくださっています。	交通安全や事故防止などの話をさせていただき安全に支援できるよう心がけています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		2	送迎時に伝達があります。	出来る限り送迎時に当日の様子をお伝えさせていただいております。また、保護者様に直接お会い出来ない場合は電話にて対応させていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1	1		いつも楽しく通わせて頂いております。安心して過ごさせて頂いています。	何かあった際は利用者様や保護者様がすぐに相談が出来る環境を心掛けております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	1		興味がある分野は特に毎月スケジュールを確認し楽しみにしています。	利用者様が楽しめるようなカリキュラムを毎月考え、提供させていただいています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1			ちゃれんじに入れて良かったと言っております。職員の方々との交流もとても楽しんでいるようです。安心して過ごさせて頂いております。	利用者様に楽しんでもらえるよう職員も一緒に楽しみながら支援しております。また、安心して過ごせるような環境づくりを心掛けています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ちゃれんじくらぶ大野城教室		年 月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		利用人数に応じて室内を室外に分けて活動を行い、学習をする場所を分けて療育を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		利用人数に合わせて対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			現在対象になる児童はおりません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清潔であることを常に保ち心地良く過ごせる空間を意識しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		療育室を併用しておりスタッフの判断で個別の部屋を使用することが出来ます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		社内規定マニュアルに準じ業務に取り組んでおり朝礼・昼礼を用いて状況により見直しを行い改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		アンケート調査を行い保護者様の意向を把握し全職員で共有し実践に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		定期的にミーティングを行いスタッフの意見交換や情報集め、より良い業務改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		オンラインや会場での研修に参加し支援向上に向けて積極的に取り組んでおります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		職員で話し合い児童の状況季節等に応じてプログラムを作成し保護者様や利用者様に分かりやすく見やすく公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者様から学校・家庭での様子を聞き取り職員で話し合いを行い計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		全職員が個別支援計画書の作成内容を全て把握し利用者様の最善の利益を見出せるよう検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		計画に沿ったより良い支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		標準化されたアセスメントツールを使用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		保護者様が理解しやすい全職員が支援内容を細分化し支援に努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		常に利用者様の必要性を考え意見を出し合い職員全体でカリキュラムを組んでいます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		利用者様の必要に応じて状況を良く観察し実践しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		利用者様の状況・個別活動や集団活動を通じてサービス支援計画書を元に適切な支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援内容・支援目的を全て理解し進行サポートと役割分担を行いチームで支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		ヒヤリハットを含め振り返りをし問題点・次につながる改善点を話し合い記録をしその日に情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		支援終了後課題となる点を話し合い記録に残し改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		自立支援と日常生活の充実の為活動・創作活動・地域交流の機会を通して高めていける様務めています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		利用者様の成長を見逃さず選択肢を常に考えておき自己決定出来る様に務めています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		サービス担当者会議には事前に職員間で話し合い児童発達支援管理責任者とスタッフが参加し支援内容を報告しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			医療的ケアの必要な児童はおりません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校や保護者様を通じて下校時刻を中心に全て共有・把握しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		保護者様を通じて情報共有をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		該当する利用者様がありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		状況により機会を設けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	屋外活動等の際交流することがあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		状況に応じて参加を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡ツールや送迎時の際利用者様の様子をお伝えし保護者様からの要望等がある際は全職員で共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	ペアレントトレーニングは実施していませんが面談や送迎時に情報提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に分かりやすく丁寧な説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		利用者様の最善の利益を考え保護者様の移行も踏まえ送迎や連絡ツールを設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		面談の際支援内容を丁寧に説明を行い内容を把握出来る様お伝えしております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		連絡ツールや送迎時を用いて悩みや相談を受けた際はその都度よりその解決へ向け支援を行います。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		保護者様参加のカリキュラムを作成し保護者様同士の交流の機会を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情があった場合・苦情受付・解決担当に繋げて迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		カリキュラムの開示やホームページ・ブログで活動内容を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報情報が記された書類に関しては全て厳重に取り扱いを行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		主に連絡ツールを使用して更に送迎時にも保護者様へ伝達しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	感染症対策の為、控えております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		全職員でマニュアル研修を行い常に災害を想定し迅速で適切な対応が出来る様努めています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		災害に備え避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		4	事前に服薬されている利用者様は保護者様を通じて全職員で把握しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	事前に利用者様は情報を確認しています。対応につきましては保護者様から服薬のご指示があれば対応報告しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画（火災・地震・防犯）等定期的に研修や訓練を行い安全計画に基いた支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		年に1度緊急連絡先を確認させて頂き安全計画に基づく取り組み内容を保護者様へ丁寧にご案内しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		週に1度事例に対しての振り返り・見直し対策を行っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		全職員に虐待マニュアル研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		対象になる利用者様は現在おりませんが契約時に保護者様へ説明させていただいております。	